

学園祭ものづくりコーナー

機械システム工学科 4年 小河原 暁彦 担当教員：森 和也

1. はじめに

私たちの小学生時代や中学生時代は、現在よりプラモデルなどの手で作るおもちゃが主流でした。ミニ四駆などは、いろいろな部品の組み合わせを考えて、競技に参加することに胸をときめかせたものです。しかしながら、最近では、バーチャルなゲームが主流を占めて、実際に手を動かしてものづくりをする機会がめっきり減っているように思います。

そこで、本プロジェクトでは、学園祭において、幼稚園児から楽しめる「ものづくりコーナー」を設置して、ものづくりの体験をおこなってもらうことを目的とします。

- 子供たちに「ものづくり」体験を提供する。
遊びがビデオゲーム中心となっている現在、実際にものを作る体験を通して、ものづくりの楽しさを与える。
- 工学好き人間を作る。
子供の頃のものづくり体験が工学好き人間を作る。
- 来場者と友達になる！
学外者との交流をはかる。

2. プロジェクトの概要

本プロジェクトは、機械システムの材料信頼性工学研究室一同、20名で実施しました。各テーマ2～3名の担当に分かれて、下記の項目を実施しました。

- 企画作成
- 予算請求
- 資材調達
- 試作
- 会場設営
- 会場運営
- 後かたづけ

実施の際には、参加者がけがなどしないように、安全に気を配りました。

3. 実施したものづくりコーナー

実施したものづくりコーナーは、以下の7項目です。

- ミニ四駆 (図1, 2)
- 七宝焼き (図3)
- プリクラ (図4)
- プラパン (図5)
- ビーズ (図6)

- モデルプレーン (図7, 8)
- 綿菓子 (図9)



図1 ミニ四駆の製作



図2 ミニ四駆の試走

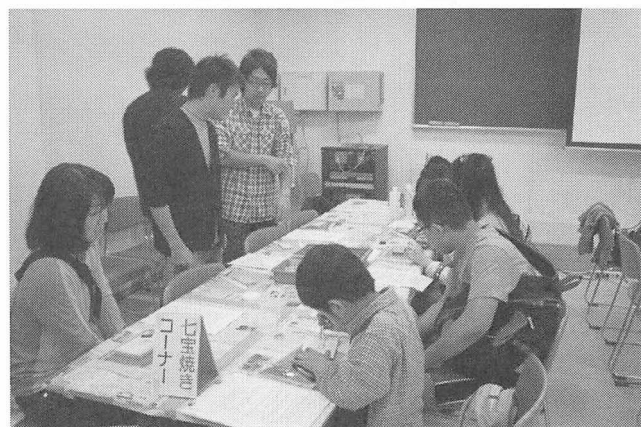


図3 七宝焼き

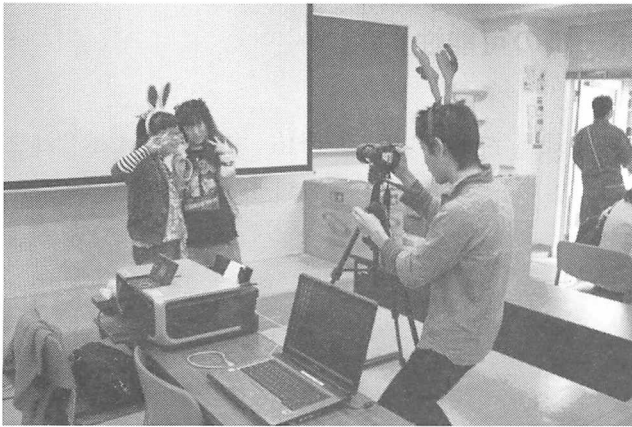


図4 プリクラ



図8 モデルプレーンフライト



図5 プラパン

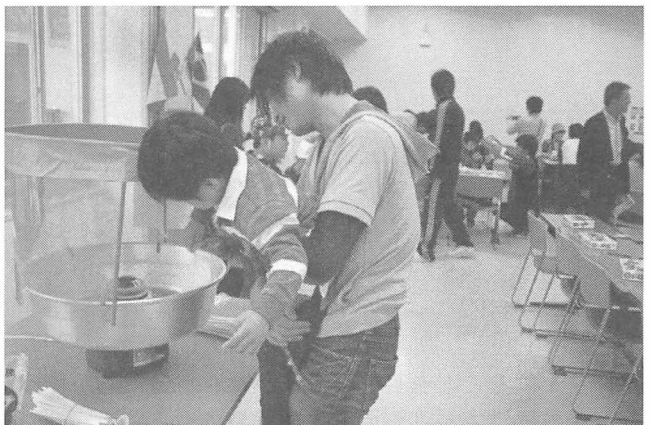


図9 綿菓子製作



図6 ビーズ

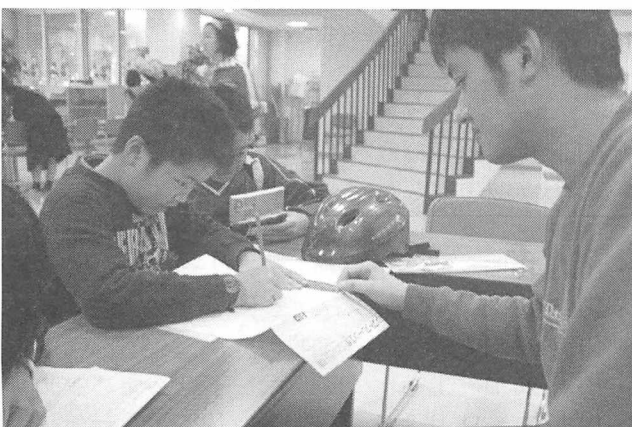


図7 モデルプレーンの製作

ミニ四駆、七宝焼き、モデルプレーンは、材料や会場の都合で予約制にしました。

モデルプレーンと綿菓子作りは、今年度から開始したコーナーです。昨年度まで実施していた竹とんぼは、製作が難しかったので中止しました。

綿菓子製作は、参加者に製作してもらい大盛況でした。

4. まとめ

本プロジェクトによって、以下のような効果があった。

➤ 学園祭で多くの来場者に、ものづくりの楽しさを味わってもらえました。綿菓子の棒の消費による来場者概数は400名を超えました。

➤ 工学部の宣伝をおこなうことができました。

➤ 来場者との楽しい交流ができました。

本プロジェクトは、今年度で6年目です。次年度も、本プロジェクトを実施したいと考えています。